

理 科

科目名	単位数	学年	学科
化学基礎	2単位	3年（選択）	農業機械科

教科書	高等学校 新化学基礎 (実教出版)	副教材	新ステップノート化学基礎 (浜島書店)
-----	----------------------	-----	------------------------

科目の目標	物質との変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		① 知識・技能	② 思考・判断・表現
1学期	序章 化学と人間生活 1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 第2節 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> 化学と人間生活との関わりや物質の性質や物質の構成粒子について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質や元素、物質の構成について観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。
2学期	2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	<ul style="list-style-type: none"> 物質と化学反応式、化学反応について、物質とその量的関係に理解しているとともにそれらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。
3学期	第3節 酸化還元反応 終章 化学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 化学基礎で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学が果たす役割を日常生活や社会と関連付けながら考察し、表現している。
1 中学校理科や1年次の学習内容とのつながりを確認しながら、日常生活とも関連づけ、身近にある化学に対して疑問を抱きましょう。 2 観察・実験、課題研究などを通して、その疑問を解決する方法を見つけましょう。 3 学習内容をノート（レポート）にまとめ、発表しましょう。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	日常生活や社会との関連を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能が身に付いている。
②	思考・判断・表現	観察・実験などの結果から、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③	主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的な根拠に基づいて探究しようとしている。
定期考査	1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末（計5回）	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ① 知識・技能（定期考査、ファイル・問題集提出） ② 思考・判断・表現（定期考査、レポート・課題提出、意見発表） ③ 主体的に学習に取り組む態度（授業・実験態度、グループワーク）	